

たまりば

2023年度 夏号

Communication
通信 

◆ 発行日 2023年7月 ◆ 発行 認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<https://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

WILLKOMMEN YUME-PARK

6月5日(月)、6日(火)、2日続けて、ドイツからの視察団が訪れました。5日は、「日独青少年指導者セミナー」に参加された皆さん、文部科学省主催、共催はJDZB(ベルリン日独センター)と国立青少年教育振興機構のセミナーで、コロナ前まで毎年訪問されていました。今年久しぶりの訪問で、テーマは「こどもと若者の貧困」でした。6日は、ドイツ在住日本人の3分の1が住んでいるノルトライン＝ヴェストファーレン州の首相と視察団の方々。「孤独と高齢化」という社会問題の解決に取り組んでいるヘンドリック・ブスト首相の訪日目的のひとつ、子どもや若者が孤立しないための日本の社会プロジェクトの視察で、川崎市子ども夢パーク・フリースペースえんを訪問されました。

毎週行っているミドルミーティングで、どんな風に歓迎しようかとみんなで考えたら、「日本的なおいしい料理を御馳走したい」「書道をしよう」「お抹茶をたてて飲んでもらおう」「フォルクローレを演奏しよう」「サッカーやドッジボールをして一緒に遊びたい」などなどたくさん案がでました。短い時間の滞在と聞いていたのですが、とにかく全部やってみようということになりました。



1日めは、西やん、あきが説明をしている間、子どもたちは食事作りや部屋の飾り付け、お茶や書道の準備を

しました。えんの中では、やきとりとおにぎりを作り、外では焼きそば用の大きな鉄板を洗い、薪を用意。良い天気だったので気温も高く、火を使う料理は大変でしたが、おいしい焼きそばができました。習字で「よう



こそ WILLKOMMEN♡と書いた紙を掛け軸に見立て、夢パークに咲いている紫陽花を生け花に、たたみのゴザを敷いて素敵なお茶室もできました。朝から浴衣を着てスタンバイしていた子どもたちは、ドイツのみなさんが外を見学するときと一緒に周り、浴衣姿で夢パークのいろんな遊びを実演(?)。室内ではフォルクローレの演奏に、手拍子やダンスでみんな大盛り上がり。ハンドドリップでコーヒーを入れるコーナーも作り、食後はドイツと日本のお菓子をいただきました。習字で一人ひとりの名前を書いたものと藍染めハンカチもプレゼント。みんな喜んでくれました。滞在時間を延長して、名残惜しみながらさよならしました。

2日めのお客様は、黒い大きな車で到着、みんな背広姿です。テレビカメラを持った人もいます。ちょっと緊張しましたが、昨日のようにフォルクローレでお出迎え、首相も赤いマラカスを持ってリズムを刻み、一緒に音楽を楽しみました。子どもたちはお茶とコーヒーでおもてなし、ドイツのぬいぐるみやバスケットボールのプレゼントをいただいて、笑顔いっぱいの記念撮影になりました。(たかこ)

認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

上野へGO♪

毎月人気の有北さんとアート講座、5月24日は番外編として美術館、博物館、動物園と見どころ満載の上野へ出かけました。まずお弁当



で腹ごしらえしてからそれぞれの興味あるところを訪ねます。今回は動物園組が多数、博物館と恐竜展コース、都美術館のマティス展コースに分かれて見学しました。マティス展を観た小学生2人は美術館初体験。集中してたくさんの作品を丁寧に観て回り、撮影OKフロアではお気に入りのスマホに収め、「面白かった!」「思ったより疲れたよー」。動物園組はゆるやかにグループに分かれて、それは楽しそうに珍しい生き物やゆかいな動物たちを自由に見て回り、博物館コースはメンバーそれぞれが、興味のある分野の豊富な知識をみんなとシェアする場面もありました。いつものみんなと電車に乗って、いつもと違う所で新しいものに出会うのって新鮮。またお出かけしようね!(ハイホー)

どうぶつたちがやってきた!

夢パークに動物がやってきました!ハーモニーセンターの方々に協力をしていただき、馬、羊、モルモットと触れ合うことができました。夢パークには基本的には動物が入れないので、レアな一日に子どもも大人も大興奮!乗馬を体験することができ、実際に馬に乗ることの怖さや魅力を肌で感じ、話も盛り上がりました。中には何回も馬に乗り馬と心を通わせる子もいました。羊には、人参やりんご、バナナなどをあげることができました。なんと羊にも好き嫌いがあり、甘いからと言っても好物ではないんだそうです!たくさんのモルモットと触れ合う体験では、やわらかな毛並みや膝の上でねむってしまうように癒される子たちが続出!今回のイベントで、命の尊さ、大切さをみんなで感じ学ぶことができました。(のすけ)



地元・高津で“どんなもんじゃ〜”

6月18日(日)に、高津区の市民活動団体が集まり、さまざまな活動を紹介し活動の幅を広げ



るお祭り「高津どんなもんじゃ祭り」(高津区市民活動見本市)が、ノクティブプラザで開催されました。たまりばは、団体紹介のパネル展示と、ロスえんクエントロスによるfolkloreの演奏をステージで披露しました。早めに会場に着いた子たちは、スタンプラリーに参加したり、他団体のワークショップに参加したり…「高津区でこんな活動してる場所あるんだね〜」と、ひととおりに楽しんでから、ステージに挑んでいました。合計4曲を演奏して、お客さんも一緒に手拍子をしてくれて、アンコールもいただき、とっても盛り上がった熱いステージとなりました!参加したみなさん、見に来てくれたみなさん、ありがとうございました〜!(もぐ)

まちのひろば

えんくる

スタートして3年目の夏を迎えるえんくるの1日をご紹介します。



朝10時、開所と同時にブリュッケの協力隊メンバーが掃除を始めます。午前中は「パントリー」常連さんが訪れ、それぞれ決まった食料をお持ち帰りに。「カフェ」は10時半スタート、季節限定コーヒーを目当てに来店する人、静かに過ごしたい子とお母さん、高校生が勉強しにくることもあります。地域の方や企業様からの大量の寄贈品が届いて急遽仕分け作業をすることも。月・水・金は15時を過ぎると「こども☆きっさ」の子どもたちが集まってきてボランティアさんと楽しく遊んだり、一人で漫画を読んだりパズルをしたり。17時過ぎると保育園帰りの親子が途中でホッと一息…多様な人たちが訪れるそれぞれの居場所「まちのひろば」となっています。そんなえんくるのホームページができました。是非覗いてみて下さい。<https://www.enclu-tamariba.org/>(菊地)

指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより

～いろんな形の「おいしいね」～



最近、ブリュッケのお昼ごはんがとても賑やかです。これまで食べる専門だった若者たちが、一人また一人と厨房に入るようになりました。昼食づくりの手伝いを通して、「意外と調理好きかも？」と新たな自分を発見した若者もいれば、自らメニューを考えて腕を振るってくれる若者もいます。作る人も増えれば、食べる人も増えて、一升炊きの炊飯器では足りなくなる日も出てきました。一方で、みんなと食わず個室でひとり食べる人。作るけれど食べない人もいます。LINEで送られてくる今日のメニューだけを見ている人もいます。

なんでもみんなと一緒にじゃなくて大丈夫。それぞれのスタイルで、いろんな形の「おいしいね」があるということブリュッケの若者たち同士は、自然と認め合っているように感じます。賑やかだけど、ゆるやかで、自分のペースで参加できるブリュッケのお昼ごはん。これからはそれぞれの「おいしいね」でつながっていきます。(三瓶)



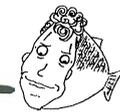
HAPPY えんブリュッケ

★「ドッチボールやろー！」誰かの一声で外へ繰り出すみんな。マイボールを持参する子もちらほら。ボールが全天候中を驚異のスピードで飛び交う様子は迫力満点！なんと3試合ぐらいつっ通しでやっているようです。すごいエネルギーにちょっとビビってしまうけど、楽しみ尽くす姿は羨ましいほど輝いています。いつか参加できるかな～(わら)

★えんめしで精米機が活躍中。いただいた玄米を、その都度五分や七分に精米して炊いています。えんのみんなは意外とグルメなのです。精米時にできる糠は、ふりかけを作ったり堆肥に加えたりしていますが、まだまだあるので良いアイデアがある方は教えてください。(三好)

★今えんの中で密かな盛り上がりを見せるモノ、それはミニ四駆！昔は夢パにも大きなコースがあったそうですが、すでにその姿はなく。「ないなら作ってしまおう！」というのが夢パ流。段ボールと養生テープを巧みに使って数時間…立派なコースが完成しました。これなら壊れてもすぐに直せる！これから熱い戦いが始まる予感です。(池ちゃん)

西野のつづき



夢パークを使って自主保育をしながら子育てを楽しんでいたお母さんたちが、自宅からもっと近いところに遊び場を立ち上げたいと始めた「高津せせらぎプレーパーク」。夢パークのボラ団体である「支援委員会」も応援に乗り出し、高津区との協働事業として、多摩川の河川敷で始まった。あれから数年。その立ち上げからがんばってきたお母さんの話では、運営を続けるのが大変だという。夢パークは子ども権利条例の第27条をもとに開設され、民間の私たちに運営を任せられ、人件費を含む運営費が市から支給されている。設備もタダで使うことができ、水光熱費も市の予算の中でまかなわれ、修繕費や改築費も市が拠出してくれる。おかげさまで7月23日に開設満20周年を迎えることができる。ありがたいことである。

その一方で民間が頑張って立ち上げた「高津せせらぎプレーパーク」は、区との協働の3年間が終わったら、あとは自分たちで何とか運営しなければならない。クラウドファンディングにも挑戦したが、目標金額には達せず、なんとか切り盛りしているが、毎回支払わなければならないプレーパークの土地使用料(1回1000円)の支出もバカにならないという。「えっ!」、一瞬耳を疑った。プレーパークを開くたびに、毎回土地代を支払っているの？お隣の宮前区では、「区民会議」の提案で「宮前区冒険遊び場活動支援要綱」までもっていて、区のホームページでも積極的にプレーパークの開設・運営・広報などを応援しているのに、高津区ではこんなことになっているなんて、知らなかった。自分たちの足元の区の施策にちゃんと関心を払っていなかった自分を恥じた。さっそく区と交渉し、この使用料は免除されることになった。皆さん、いま一度権利条例を読み直してほしい。夢パークの入口に書かれている第27条「子どもの居場所」の看板の下に、見過ごされがち重要な条文があることを。27条第2項「市は、子どもに対する居場所の提供等の自主的な活動を行う市民及び関係団体との連携を図り、その支援に努めるものとする」。条例施行から22年。その風化が懸念される中、権利主体である我々市民が、しっかりと条例を使いこなし、守り続けたいと思う。(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

新型コロナウイルス対策による、イベント・企画の実施等の変更については、開催日が近づきましたら ホームページでご確認をお願いします。 <https://www.tamariba.org>

夢パーク 20th 夢パおたんじょう日まつり

～ありがとう・おめでとう・これからも～

7月23日(日)11:00～16:00(18:00 閉所)

☆夢パークは今年 20 歳を迎えます！みんなで祝いしよう！いつもの水ド口あそびはもちろん、大友剛さんのコンサートや動画上映、登竜門でのパフォーマンス、模擬店記念グッズの販売など盛りだくさん。着替えやぼうしも忘れずにね。
※24日(月)は臨時施設点検日のため夢パークは閉まっています。

八丈島キャンプ

7月30日(日)～8月4日(金)・5泊6日(うち船中1泊)

八丈島・底土キャンプ場

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第3回 8月12日(土) 10:00～12:00

第4回 10月21日(土) 10:00～12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
参加費 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第3回…7月3日(月)、第4回…9月4日(月)
12:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます

(2023.3.3～2023.6.9)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

青木和雄、大垣真理子、常川恵子、中村公一・勇、齋藤こえ子、宮崎芳正、山本哲也・将也、永井優雅、内田成信、内田安信、村松樹、木村慎也、福本陽子、増田秀行、宮島樹理、長谷川啓介・佑希子、眞田朗、松浦えりか、野口由美子、中澤敦子、中西拓子、又賀志保子、朝香宏宣、伊藤多美恵、熊谷和夫、山下泰司、金井謙太郎、神戸朋子、東靖士、石川富士子、内川朗子、八巻栄子、松木雅幸、有園愛、佐藤奈緒子、橋本俊、小原宏一・輝子、五十嵐章夫、手柴充博、本田正男、中山裕一、山田恵理子、矢崎達則、朱田貴美、山下晴子、新妻賢一、鈴木みしお、イヅハヒナコ、ニシタツトム、吉村友紀子、佐藤ニコラス・朋子、堀池雄司、平野知恵、遠山宗子、竹内昭・太郎、清水善幸、小山武史、渡邊敬・未希、橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、奥田礼子、コンペイトウ、田老幸子、安西卷子、新井野誠、赤野一将・香織、森田泰恵、野田岳志、山口正芳、イロオイヤカ、安田靖子、今村久美、新居千文、新井琴乃、内田塔子、武井哲郎、友兼清治・悦子、櫻原雅人、光富真希子、山下美智代、高橋元央、細田和恵、町田恵美、友兼大輔、三好洋子、菅子ども部会バレーボール部 菅レインボーズ、NPO 法人ハートセラピー川崎 21、中標津こどもクリニック、生活クラブ生協、国際ソロプチミスト川崎-百合

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

